

造血幹細胞移植医療体制整備事業 沖縄ブロック
令和5年度 看護基礎研修 I (2023年6月25日)
結果報告



案内方法

- 県内関連病院(クリニック)470施設へのパンフレット郵送
- 造血幹細胞移植医療体制整備事業HPへの掲載
- 院内掲示板・電子掲示板への掲載
- 琉球大学病院HP,SNS(Twitter,Facebook)への掲載
- メールでの直接案内(移植関係者、以前のセミナー参加者)



院内ポスター掲示

生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業

血細胞移植 看護基礎研修Ⅰ

同日 令和5年 6/25(日) 9:00~12:00

開催方法 Zoomを使用した オンライン開催

対象者 ● 移植看護の基礎を学びたい医療従事者
● 学会主催の「移植後フォローアップのための看護師研修会」の受講資格を目指す方

お申し込み方法 URL (<https://forms.gle/2KzyUcKSGdodasT46>) or QRコードから
参加申し込みフォームにアクセスして頂く。必要情報をご入力ください
後日、担当よりセミナー参加用ZoomURLを送付いたします。
研修前日までにメールがない場合は、お手数ですが下記のE-mailへご連絡ください。

締切日 令和5年6月15日(木)

参加費 無料

E-mail ryudai.kyoten3331@gmail.com

お問合せ 琉球大学病院 第二内科医局内
造血幹細胞移植医療体制整備事業事務局
TEL: 098-895-1146

厚生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業
造血幹細胞移植推進拠点病院 琉球大学病院

***** プログラム *****

| | |
|-----------------------|--|
| 開会のあいさつ | 琉球大学病院 第二内科 特命助教 北村 紗希子先生 |
| 「造血幹細胞移植の基礎」 | 琉球大学大学院医学研究科 内分代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)准教授 森島 聡子先生 |
| 「倫理・家族支援」 | 琉球大学病院 認定HCTC・看護師 平良 真紀子先生 |
| 10分休憩 | |
| 「移植前処置 抗がん剤の管理・種類・特性」 | 琉球大学病院 薬剤師 橋田 律先生 |
| 「スキンケア」 | 琉球大学病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 鶴長 浩一郎先生 |
| 閉会のあいさつ | 琉球大学大学院医学研究科 内分代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)講師 仲地 佐和子先生 |

※質疑応答は、各講演後に設けています。
※スケジュールやプログラムは、当日の進行状況により変更される場合がございますので予めご了承ください。

修了証について

- 看護基礎研修Ⅰの申込みの際に、修了証の発行を希望された方にお送り致します。但し、10分以上の入室の遅れや途中退室された場合は、発行出来ませんのでご了承ください。
- 修了証が不要の方は、申込みの際にご記載ください。

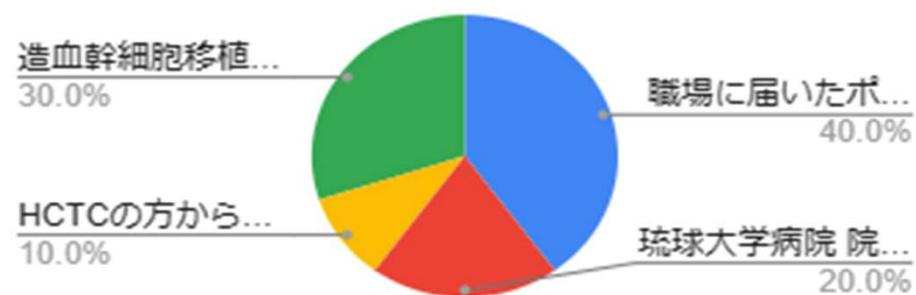
アンケート結果

セミナー事前登録者数
29名

セミナー参加者数
35名

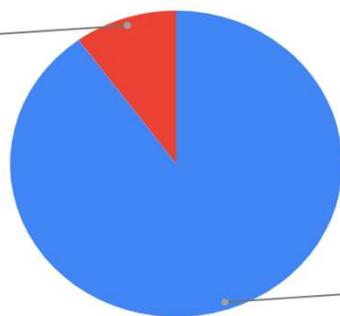
アンケート回答者数
10名

「このセミナー実施をどのようにして知りましたか。」



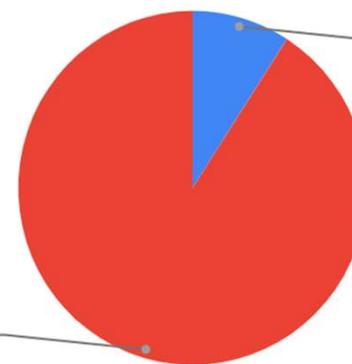
「所要時間について」のカウント数

短い・もっと聞きたかった
10.0%



適切
90.0%

内容についての満足度
9.1%



分かりやすかった・...
90.9%

アンケート結果(コメント抜粋)

Q1. このセミナーのどのような点が特に役立ちましたか？

A1. 移植希望患者ご家族への対応。

A2. 疾患について多職種の立場からの講義が浅く広く学ぶことが出来た。

A3. 疾患について治療、看護師、薬剤治療、ケア、移植患者の全体がわかりやすかった。

A4. 当院では幹細胞移植を行っていないため、貴院への紹介となります。自分自身知識が無いため、相談を受けるにあたり漠然とした不安がありました。知識を得ることで不安軽減ができ、患者や家族へ紹介前の気持ちに寄り添える支援に役立つと思います。事前に送付して頂いたテキストに目を通すことで、研修も受けやすかったです。

A5. 移植に関わる色々な分野からの報告が聞ける。

A6. 造血幹細胞移植において多職種の方が関わっていることを認識できたこと。

A7. 前処置やGVHD等状態を知る事で、採取に向けてのドナーさんへのアプローチ気が引き締まった。。

A8. 改めて造血幹細胞移植の成り立ちや、チーム医療の関わり的重要性を学ぶことができた。

アンケート結果(コメント抜粋)

Q2.このセミナーのどのような点を改善した方がよいと思いますか。

A1.基礎的な講義のため、このままで良いのではないのでしょうか？

A2.特にない。

A3.血縁、非血縁ドナーのドナー助成制度活用等、採取に向けての環境も含めたアプローチ加えても良かったか考える

A4.医学用語の説明をレジメに入れてもらえると良いと思いました。

アンケート結果(コメント抜粋)

Q4.その他(自由記載欄)

A1.プリント印刷が見えにくい箇所があった。

A2.ありがとうございます。

A3.骨髄バンクのコーディネーターの私にも、学習の機会を与えて下さることに深く感謝申し上げます。

A4.★森島聡子先生の研修には何度か参加させて頂きますが、私のように医療従事者でないものにも、幹細胞移植の基本を本当によく分かるように伝えて下さいます。最初のデータや分かりやすいグラフ、イラスト等、とても勉強になります。ありがとうございました。

★家族支援の研修 平良真紀子HCTCをはじめとして、チーム医療の活動の様子を伺いました。ドナーさん、患者さん、また、それを取巻く様々な問題に日々真摯に対応されている姿をいつもの事ながら尊敬いたします。

★薬剤師の橋田律様の研修では、移植医療の中で薬剤師の方々が大変重要な部分を担当されている事を改めて実感しました。

★スキンケアの翁長様の研修、患者さんのGVHDへの取り組み、大変でしょうが、より良い看護を日々取り組んでおられる姿を学びました。本日は、ありがとうございました。

A5.血縁、非血縁ドナーともに「採取が決定したら」体調管理面の根拠を加えて欲しい。具体的に～筋肉運動の制限期間やレベル（施設によっては、術前から禁止）なぜ、サプリメントが不可か・・・など。

A6.今後も研修会で学んでいきたいので、ぜひ研修会を継続して欲しいです。このような機会を設けていただきありがとうございました。

多くのご参加誠にありがとうございました
皆様からいただいた貴重なご意見を参考に
沖縄ブロック 移植拠点病院として
今後の活動に繋げて参ります

